

D. 考察

大規模災害時において、被災者にはできるだけ早い時期から、安全に、最低必要量以上の栄養補給をさせることが重要となる。そのためには、摂食困難者においては歯科の処置や指示が必要となる。その上で、栄養士による栄養・食生活支援が行われることが、もっとも有効であると考えられる。さらに、災害時においては通常の食生活が営めないことから、各人や自治体の備蓄の他、食品・飲料などを取り扱っている企業・団体からの支援・協力も必要となる。

これまでの災害においては、医師による医療活動、保健師による保健活動から遅れて栄養・食支援活動が行われていたが、摂食困難者の把握などはそれらの活動からはもれていたとの報告があり、栄養士の介入と併せた歯科医師・歯科衛生士の介入の必要性が明らかとなった。また、食糧物資の支援元となる食品・飲料を取り扱う企業・団体は、適切な活用を求めていることも本調査から明らかとなった。具体的には、摂食困難者向けあるいは疾患に対応した食品が、医師や歯科医師の下で適切に活用されることを望んでおり、不適切な使用による被災者の身体への危険を懸念していた。以上のことから、栄養・食支援活動と連携を取った、摂食困難者に対する歯科保健の必要性は明らかである。

栄養士による栄養・食生活支援活動計画は、保健所管理栄養士の活動を中心に、徐々に整備されつつある。既存のマニュアルにおいては、平常時においては、要援護者の把握と食糧物資の備え、支援される物資を想定した展開の指導が、災害時においては、まずは状況把握を行い、その上で栄養指導・食事相談や適切な食事の提供等の実施が計画されていた。連携する他職種としては医師や保健師が挙げられており、歯科医師は見られなかった。

平常時においても歯科医師と栄養士との連携は注目され始めた段階であり、一般的にまだ連携体制が取られているとは言い難い。今後、マニュアル整備の過程において、歯科医師や歯科衛生士などの歯科保健医療との関わりについても検討されるよう、双方の働きかけが必要であると考えられる。

また、災害時の栄養・食生活を守るためには、平常時からの備えや心構えが重要である。日常の歯科保健、歯科医療の中で、災害時に想定される状況の説明やそのための対策などについても、患者などに指導する機会を作る必要があると考える。

E. 結論

1. 大規模災害時における摂食困難者の栄養・食支援活動に対し、歯科保健医療体制を連携させる必要性が明らかとなった。
2. 平常時から、歯科保健医療の場において患者などに大規模災害に備えた対策などの指導を行っていく必要がある

F. 研究発表

なし

G. 知的所有権の出願・登録状況

なし

参考資料 1

「大規模災害時における栄養・食支援体制の現状に関するアンケート調査」

調査用紙

大規模災害時における栄養・食支援体制の現状に関するアンケート調査

都道府県名： _____

会員数： _____ 名

A. “大規模災害時に栄養士会会員として各栄養士が行う活動”を具体的に示したマニュアルやガイドラインについてお尋ねします。

問1 貴会内に大規模災害対策マニュアルやガイドラインはありますか。

- | | | | |
|----------------|---|---|----------------------------------|
| 1. ある | } | → | 1, 2, 3とお答えの方は <u>問2へお進みください</u> |
| 2. 作成中である | | | |
| 3. 作成予定がある | | | |
| 4. ない（作成予定もない） | } | → | 4, 5とお答えの方は <u>Bへお進みください</u> |
| 5. ない（作成予定は不明） | | | |

問2 作成元（予定）はどこですか。（複数回答可）

- | | | |
|-------------------|---------------------|---------------------------|
| 1. 貴会執行部 | 2. 貴会内の地域支部 | 3. 貴会内の職域協議会（協議会名： _____） |
| 4. 保健所 | 5. 都道府県 | 6. 市区町村 |
| 7. わからない（決まっていない） | 8. その他（具体的に： _____） | |

問1で「2.作成中である」「3.作成の予定はある」とお答えの方 → Bへお進みください

「1.ある」とお答えの方 → 問3以降にお答えください

問3 災害発生時の会員間の連絡体制について記載はありますか。ある場合は具体的に方法をご記入ください。

1. ある（具体的に： _____）
2. ない

問4 貴会会員へのマニュアルやガイドラインの周知は、どのような方法で行っていますか。（複数回答可）

1. マニュアル類があることを会報に掲載
2. マニュアル類があることをホームページに掲載
3. マニュアル類を配付
4. 詳細な内容をホームページに掲載
5. その他（具合的に： _____）
6. 行っていない

B. 大規模災害時における、貴会と貴都道府県内の行政機関（保健所・都道府県・市区町村など）との連携・支援体制についてお尋ねします。

問1 貴会と行政機関との連携・支援体制は整備されていますか。

- | | | |
|-------------|---|----------------------------|
| 1. 整備されている | → | 1とお答えの方は <u>問2へお進みください</u> |
| 2. 整備されていない | → | 2とお答えの方は、 <u>Cにお進みください</u> |

問2 下記の問2-1~4のうち、連携・支援体制が整っている事項についてお答えください。(複数回答可)

問2-1 食糧物資支援について(未整備の場合は、問2-2へお進みください)

a. 方法(複数回答可)

1. 支援元(企業・施設など)と支援先(行政機関)の仲介
2. その他(具体的に: _____)

b. タイミング(複数回答可)

1. 行政機関側からの要請があったとき
2. 支援元からの支援があったとき
3. 災害発生後の決まった時点(災害発生後24時間以内など)
4. その他(具体的に: _____)

c. 支援内容(複数回答可)

*一般食についてのみお答えください。栄養・食形態コントロール食については問2-3でお尋ねします。

1. 主食用食品
2. 副食用食品
3. 飲料
4. 栄養補助食品
5. 菓子類
6. 関連器具類(調理器具, 熱源, 食器など)
7. 要請に応じて決定
8. 支援元が決定

問2-2 人的支援について(未整備の場合は、問2-3へお進みください)

a. 方法(複数回答可)

1. 貴会会員の派遣
2. 非被災地(他都道府県)栄養士会会員の派遣
3. その他(具体的に: _____)

b. タイミング(複数回答可)

1. 行政機関側からの要請があったとき
2. 災害発生後の決まった時点(災害発生後24時間以内など)
3. その他(具体的に: _____)

c. 支援人数

1. 行政機関側からの要請により決定する
2. 概ね決めている(_____ 人)

d. 支援内容

1. 要請に応じて決定
2. 特定の決まった内容のみ支援

—————▶ 1とお答えの方は 問2-3へお進みください

└───▶ 2とお答えの方は、d-2にお進みください

d-2 具体的な内容を下記からお選びください。(複数回答可)

1. 避難所/避難所外/仮設住宅などにおける被災者の食事状況の把握
2. 食糧物資分配に関わる栄養・衛生指導
3. 炊き出しに関わる栄養・衛生・技術指導
4. 被災者(避難所/避難所外/仮設住宅)に対する食生活・栄養に関する相談・指導
5. 被災給食施設への調理・栄養管理の支援
6. その他(具体的に: _____)

c-2 具体的な対象を下記からお選びください。(複数回答可)

- | | | |
|---------------|--------------------|---------------------------|
| 1. 乳児用飲料 | 2. 離乳食 | 3. 咀嚼・嚥下困難者用食品(粥・とろみ剤を含む) |
| 4. 糖尿病患者用食品 | 5. 脂質コントロール食 | 6. たんぱく質コントロール食 |
| 7. 塩分コントロール食 | 8. 透析食 | 9. (濃厚)流動食 |
| 10. アレルゲン除去食 | 11. 特定栄養素除去食(代謝異常) | |
| 12. その他(具体的に: | |) |

c-3 上記の支援において、医師・歯科医師との連携体制は取りますか。(1,2についてのみ重複回答可)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 医師と連携を取る | 2. 歯科医師と連携を取る |
| 3. 行政機関側からの要請に応じる | |

問2-4 その他、連携・支援体制が整備されている事項がありましたら、具体的にご記入ください。

()

問3 問2-1-4で整備されているとお答えになった行政機関との連携・支援体制について、貴会会員への周知はどのような方法で行っていますか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 詳細を会報に掲載 | 2. 詳細をホームページに掲載 |
| 3. 一部あるいは項目のみを会報に掲載 | 4. 一部あるいは項目のみをホームページに掲載 |
| 5. その他(具的) | 6. 行っていない |

C. 大規模災害時の、食品メーカーや食品卸業者などの企業・団体との食糧物資支援協定についてお尋ねします。

問1 貴会と食糧物資支援協定を結んでいる企業・団体はありますか。

- | | |
|----------------|------------------------------|
| 1. ある | → 1とお答えの方は、問2にお進みください |
| 2. 協議(検討)中である | } → 2,3,4,5とお答えの方は、Dにお進みください |
| 3. 協議(検討)予定がある | |
| 4. ない(検討予定もない) | |
| 5. ない(検討予定は不明) | |

問2 下記のうち、支援協定の中に含まれている食糧物資を選んでください。(複数回答可)

- | | | |
|------------------|---------------------------|------------------|
| 1. 主食用食品(一般食に限る) | 2. 副食用食品(一般食に限る) | 3. 飲料 |
| 4. 栄養補助食品 | 5. 菓子類 | 6. 乳児用飲料 |
| 7. 離乳食 | 8. 咀嚼・嚥下困難者用食品(粥・とろみ剤を含む) | |
| 9. 糖尿病患者用食品 | 10. 脂質コントロール食 | 11. たんぱく質コントロール食 |
| 12. 塩分コントロール食 | 13. 透析食 | 14. (濃厚)流動食 |
| 15. アレルゲン除去食 | 16. 特定栄養素除去食(代謝異常) | |
| 17. その他(具体的に: | |) |

問3 支援を受けるタイミングは決まっていますか。(複数回答可)

1. 貴会から要請したとき
2. 災害発生後の決まった時点(災害発生後24時間以内など)
3. その他(具体的に:)

D. 大規模災害時における、他都道府県栄養士会との支援協定についてお尋ねします。

問1 貴会と支援協定を結んでいる他都道府県栄養士会はありますか。

1. ある → 1とお答えの方は、問2にお進みください
 2. 協議(検討)中である
 3. 協議(検討)予定がある
 4. ない(検討予定もない)
 5. ない(検討予定は不明)
- 2, 3, 4, 5とお答えの方は、Eにお進みください

問2 支援協定の中に含まれている事項についてお答えください。

- a. 方法(複数回答可)
1. 食糧物資支援
 2. 人的支援
 3. その他(具体的に:)
- b. タイミング(複数回答可)
1. 貴会から要請したとき
 2. 災害発生後の決まった時点(災害発生後24時間以内など)
 3. その他(具体的に:)
- c. 支援内容
1. 要請に応じて決定
 2. 特定の決まった内容のみ

E. 平常時における、貴会の災害時対策に関する教育研修や検討会についてお尋ねします。

問1 災害時対策に関する貴会会員を対象とした教育研修会を過去3年間のうちに開催したことがありますか。

1. ある → 1とお答えの方は、問1-2へお進みください
2. ない → 2とお答えの方は、問2へお進みください

問1-2 開催された教育研修会について、具体的にお答えください。

- a. 主催者
1. 貴会執行部
 2. 貴会内の地域支部
 3. 貴会内の職域協議会(協議会名:)
 4. その他(具体的に:)
- b. 平成17-19年度の開催回数(予定も含めて構いません)
- 平成17年度 _____ 回, 平成18年度 _____ 回, 平成19年度 _____ 回
- c. 内容(研修名や研修項目など、ご自由にご記入ください。)

()

問2 貴都道府県内の行政機関と、災害時対策に関する検討会などの情報交換の場はありますか。

1. ある → 1とお答えの方は、問2-2へお進みください
2. ない → 2とお答えの方は、Fへお進みください

問2-2 検討会などの情報交換の場について、具体的にお答えください。

a. 主催者（複数回答可）

1. 都道府県 2. 市区町村 3. 保健所 4. その他（具体的に： _____）

b. 平成17～19年度の開催頻度（予定も含めて構いません）

平成17年度 _____ 回, 平成18年度 _____ 回, 平成19年度 _____ 回

c. 内容（複数回答可）

1. 備蓄／支援食糧の内容や数量について
2. 炊き出しや食糧物資分配に関わる栄養・衛生・技術指導について
3. 被災者全体への食生活支援について
4. 栄養・食形態コントロールが必要な被災者に対する支援について
5. 被災給食施設への調理・栄養管理の支援について
6. その他（具体的に： _____）

問3 得られた情報を貴会会員へフィードバックしていますか。（複数回答可）

1. 詳細を会報に掲載 2. 詳細をホームページに掲載
3. 一部あるいは項目のみを会報に掲載 4. 一部あるいは項目のみをホームページに掲載
5. その他（具体的に： _____） 6. 行っていない

F. その他、大規模災害時対策として、貴会の取り組みやお考えがありましたらご紹介ください。

(_____)

G. 今後、アンケート内容に関し、もう少し詳しくお尋ねしたい場合や資料をいただきたい場合などのご連絡先を教えてください。

*ご担当の方のお名前： _____

*ご担当の方の貴会におけるお立場： _____

*ご都合の良い連絡方法： 電話 ・ FAX ・ E-mail ・ 郵便

*ご連絡先（住所、電話番号、fax番号、e-mailアドレスなど）：

ご協力ありがとうございました

参考資料 2

「大規模災害時における食糧物資支援に関するアンケート調査」

調査用紙

大規模災害時における食糧物資支援に関するアンケート調査

A. 過去の災害時における、食糧物資支援の実績についてお尋ねします。

問1 食糧物資支援を行ったことはありますか。

1. ある → 1とお答えの方は 問2へお進みください。
2. ない → 2とお答えの方は Bへお進みください。

問2 食糧物資支援はどの災害で行いましたか。(複数回答可)

1. 阪神・淡路
2. 新潟県中越地震
3. 福岡西方沖地震
4. 能登半島沖地震
5. 新潟県中越沖地震
6. その他()

問3 食糧物資支援はどのように行いましたか。(複数回答可)

1. 独自に判断
2. 被災地(都道府県・市町村)からの要請
3. 被災地以外の行政機関からの要請
4. 業界団体からの要請
5. 支援協定に基づく
6. その他()

問4 支援先はどこでしたか。(複数回答可)

1. 都道府県
2. 市区町村
3. 保健所
4. 病院・福祉施設
5. 避難所
6. 都道府県栄養士会
7. その他()

問5 支援物資の内容(種類)はどのように決めましたか。(複数回答可)

1. 独自に判断
2. 要請に基づく
3. 支援協定に基づく
4. その他()

問6 支援物資の数量はどのように決めましたか。(複数回答可)

1. 独自に判断
2. 要請に基づく
3. 支援協定に基づく
4. その他()

問7 支援のタイミングはどのように決めましたか。(複数回答可)

1. 独自に判断
2. 要請に基づく
3. 支援協定に基づく
4. その他()

問8 支援物資の費用は誰が負担しましたか。(複数回答可)

1. 自社負担
2. 要請先負担
3. 自社と要請先の両方が負担
4. わからない
5. その他()

問9 支援の際に問題となった事項、不安のあった事項はありましたか。(複数回答可)

1. 費用負担
2. 被災地への配送方法
3. 被災地における物資の活用
4. 被災地に届く時期
5. その他()

問10 支援の際に、専門家に相談をしましたか。(複数回答可)

1. 医師 2. 歯科医師 3. 看護師・保健師 4. 栄養士 5. その他()

B. 行政機関あるいは都道府県栄養士会、病院・施設などの食糧物資支援協定についてお尋ねします。

問1 支援協定を結んでいる行政機関／施設／団体はありますか。

1. ある → 1とお答えの方は 問2 へお進みください。
2. ない → 2とお答えの方は C へお進みください。

問2 協定先はどこですか。お差し支えない範囲でお教えてください。(複数回答可)

1. 行政機関 2. 都道府県栄養士会 3. 病院・施設 4. その他()

問3 協定内で既に詳細が定められている事項はありますか。お差し支えない範囲でお教えてください。(複数回答可)

1. 物資内容(種類) 2. 物資の数量 3. 支援タイミング

C. 貴社における今後の食糧物資支援に関する方針をお尋ねします。

問1 災害発生時の食糧物資支援について、どのようにお考えですか。

1. 積極的に支援を行いたい
2. 要請があれば支援を行いたい
3. 支援を行うことは考えていない
4. わからない

問2 支援協定について、どのようにお考えですか。

1. 積極的に検討したい
2. 要請があれば検討したい
3. 協定を結ぶことは考えていない
4. わからない

問1、問2の両方とも、3,4とお答えの方は D へお進みください。

それ以外の方は 問3 へお進みください。

問3 食糧物資支援を行うことを想定した場合、不安な点や疑問な点がありましたら、具体的にご記入ください。

()

問 4 第一ステージ（参考資料参照）において、支援が可能な食糧物資の種類をお選びください。

（複数回答可） お差し支えなければ、商品リーフレットなどもご同封ください。

- | | | |
|----------------------|---------------------------|------------------|
| 1. 主食用食品（一般食に限る） | 2. 副食用食品（一般食に限る） | 3. 飲料（水・茶） |
| 4. 飲料（水・茶以外） | 5. 菓子類 | 6. 乳児用ミルク |
| 7. 離乳食 | 8. 咀嚼・嚥下困難者用食品（粥・とろみ剤を含む） | |
| 9. 糖尿病患者用食品 | 10. 脂質コントロール食 | 11. たんぱく質コントロール食 |
| 12. 塩分コントロール食 | 13. 透析食 | 14. （濃厚）流動食 |
| 15. アレルゲン除去食 | 16. 特定栄養素除去食（代謝異常） | |
| 17. その他（具体的に： _____） | | |

問 5 第二ステージ（参考資料参照）において、支援が可能な食糧物資の種類をお選びください。

（複数回答可） お差し支えなければ、商品リーフレットなどもご同封ください。

- | | | |
|----------------------|---------------------------|------------------|
| 1. 主食用食品（一般食に限る） | 2. 副食用食品（一般食に限る） | 3. 飲料（水・茶） |
| 4. 飲料（水・茶以外） | 5. 菓子類 | 6. 乳児用ミルク |
| 7. 離乳食 | 8. 咀嚼・嚥下困難者用食品（粥・とろみ剤を含む） | |
| 9. 糖尿病患者用食品 | 10. 脂質コントロール食 | 11. たんぱく質コントロール食 |
| 12. 塩分コントロール食 | 13. 透析食 | 14. （濃厚）流動食 |
| 15. アレルゲン除去食 | 16. 特定栄養素除去食（代謝異常） | |
| 17. その他（具体的に： _____） | | |

問 6 第三ステージ（参考資料参照）において、支援が可能な食糧物資の種類をお選びください。

（複数回答可） お差し支えなければ、商品リーフレットなどもご同封ください。

- | | | |
|----------------------|---------------------------|------------------|
| 1. 主食用食品（一般食に限る） | 2. 副食用食品（一般食に限る） | 3. 飲料（水・茶） |
| 4. 飲料（水・茶以外） | 5. 菓子類 | 6. 乳児用ミルク |
| 7. 離乳食 | 8. 咀嚼・嚥下困難者用食品（粥・とろみ剤を含む） | |
| 9. 糖尿病患者用食品 | 10. 脂質コントロール食 | 11. たんぱく質コントロール食 |
| 12. 塩分コントロール食 | 13. 透析食 | 14. （濃厚）流動食 |
| 15. アレルゲン除去食 | 16. 特定栄養素除去食（代謝異常） | |
| 17. その他（具体的に： _____） | | |

問 7 支援に関し、対象地域や数量などに限定がありましたら、具体的にご記入ください。

問8 災害時の要請あるいは支援協定に関する相談などの窓口について、ご連絡先をお教えてください。

貴社名：

ご担当部署名：

ご担当者（ご身分）： ()

ご連絡先（住所・電話番号・メールアドレス・URL など）：

D. 本アンケート調査の結果に関し、次の通り情報公開を予定しております。ご承諾の可否をお知らせください。なお、公開は国立保健医療科学院が運用管理している「厚生労働科学研究成果データベース (<http://mhlw-grants.niph.go.jp>)」および「健康危機管理支援ライブラリーシステム (H-CRISIS) (<http://h-crisis.niph.go.jp>)」にて行う予定です。

問1 アンケート協力企業として、ご協力くださった企業の社名公開を予定しております。

1. 公開を承諾します
2. 公開を承諾しません

問2 Cのご回答に関し、支援あるいは支援協定の検討が可能な企業の社名およびご担当窓口、支援可能な食糧物資の種類などを調査時の情報としてリスト化し公開することを予定しております。

1. 公開を承諾します
2. 公開を承諾しません

E. お差し支えなければ、ご記入された方のお名前とご連絡先をお教え願います。ご回答に関して照会したい場合に、ご連絡させていただきます。また、結果の概略を後日ご送付いたします（ご記入のない場合は、本状のご送付先へお送りいたします）。

ご所属の部署名：

お名前（ご身分）： ()

電話番号 あるいは メールアドレス：

～ご協力ありがとうございました～

参考資料3

「大規模災害時における食糧物資支援に関するアンケート調査」

協力企業・団体

アサヒビール株式会社	全国農業協同組合連合会 岐阜県本部
味の素株式会社	全国農業協同組合連合会 滋賀県本部
アルファー食品株式会社	全国農業協同組合連合会 長崎県本部
伊藤ハム	株式会社トラストサービス
江崎グリコ株式会社	日清サイエンス株式会社
株式会社エックスヴィン	ニュートリー株式会社
株式会社大富士ライフケアアンドサポート	ハインツ日本株式会社
株式会社小田島アクティ	株式会社ピーシーエス
加藤産業株式会社	ひまわりメニューサービス株式会社
カルピス株式会社	フジッコ株式会社
株式会社クリニコ	株式会社プロントコーポレーション
ケータリングフード株式会社	ヘルシーフード株式会社 株式会社ヘルシーネット
株式会社源泉館	トワーク
株式会社小池風流軒	ホリカフーズ株式会社
康和食産株式会社	株式会社マルハニチロホールディングス
株式会社小嶋総本店	株式会社宮源
有限会社サンガコーキおーしゃんずキッチン	明和食品株式会社
日東ベスト株式会社	株式会社本長
株式会社ジャパン メディカルフード	ヤマサ醤油株式会社
株式会社秀栄	ヤマモリ株式会社
シントミフーズ株式会社	有限会社ユニオン
株式会社セブン・イレブン・ジャパン	養老乃瀧株式会社
株式会社秩父源流水	米屋株式会社
全国農業協同組合連合会 庄内本部	株式会社レシビ計画
全国農業協同組合連合会 宮城県本部	和歌山県農業協同組合連合会
全国農業協同組合連合会 福島県本部	他
全国農業協同組合連合会 茨城県本部	

計 104 企業・団体

参考資料4

「大規模災害時における食糧物資支援に関するアンケート調査」

集計結果

A. 過去の災害時における、食糧物資支援の実績について

問1 食糧物資支援を行ったことはありますか。

(n=104)	
支援実績	回答数
1. ある	61
2. ない	33
無回答	10

問2 食糧物資支援はどの災害で行いましたか。(複数回答可)

(n=61, 重複回答あり)	
災害名	回答数
1. 阪神・淡路	37
2. 新潟県中越地震	37
3. 福岡西方沖地震	4
4. 能登半島沖地震	11
5. 新潟県中越沖地震	30
6. その他	9

*その他：台風、豪雨、火山噴火など

問3 食糧物資支援はどのように行いましたか。(複数回答可)

(n=61, 重複回答あり)	
支援理由	回答数
1. 独自に判断	46
2. 被災地（都道府県・市町村）からの要請	15
3. 被災地以外の行政機関からの要請	8
4. 業界団体からの要請	14
5. 支援協定に基づく	2
6. その他	11
被災地の病院・施設からの要請	(2)
被災地の取引先・販売店からの要請	(3)
都道府県栄養士会からの要請,	(1)
連合組織として組織内の指示	(3)

問4 支援先はどこでしたか。(複数回答可)

(n=61, 重複回答あり)	
支援先	回答数
1. 都道府県	18
2. 市区町村	27
3. 保健所	2
4. 病院・福祉施設	10
5. 避難所	14
6. 都道府県栄養士会	5
7. その他	17

問5 支援物資の内容(種類)はどのように決めましたか。(複数回答可)

問6 支援物資の数量はどのように決めましたか。(複数回答可)

問7 支援のタイミングはどのように決めましたか。(複数回答可)

(n=61, 重複回答あり)

決定方法	内容	数量	タイミング
1. 独自に判断	48	50	46
2. 要請に基づく	35	26	34
3. 支援協定に基づく	2	3	3
4. その他	3	3	3

問8 支援物資の費用は誰が負担しましたか。(複数回答可)

(n=61, 重複回答あり)

費用負担	回答数
1. 自社負担	53
2. 要請先負担	6
3. 自社と要請先の両方が負担	8
4. わからない	0
5. その他	3

問9 支援の際に問題となった事項、不安のあった事項はありましたか。(複数回答可)

(n=61, 重複回答あり)

問題・不安事項	回答数
1. 費用負担	5
2. 被災地への配送方法	38
3. 被災地における物資の活用	24
4. 被災地に届く時期	19
5. その他	5
現地での調理方法	(2)
物資の受入体制	(3)

問10 支援の際に、専門家に相談をしましたか。(複数回答可)

(n=61, 重複回答あり)

相談した専門家	回答数
1. 医師	1
2. 歯科医師	0
3. 看護師・保健師	1
4. 栄養士	9

B. 行政機関あるいは都道府県栄養士会、病院・施設などとの食糧物資支援協定について

問1 支援協定を結んでいる行政機関/施設/団体はありますか。

(n=104)

支援協定先	回答数
1. ある	26
2. ない	64
無回答	14

問2 協定先はどこですか。お差し支えない範囲でお教えてください。(複数回答可)

(n=26, 重複回答あり)

支援協定先	回答数
1. 行政機関	23
2. 都道府県栄養士会	0
3. 病院・施設	2
4. その他	3

問3 協定内で既に詳細が定められている事項はありますか。お差し支えない範囲でお教えてください。(複数回答可)

(n=26, 重複回答あり)

協定内容	回答数
1. 物資内容 (種類)	24
2. 物資の数量	10
3. 支援タイミング	6

C. 貴社における今後の食糧物資支援に関する方針について

問1 災害発生時の食糧物資支援について、どのようにお考えですか。

(n=104)

食糧物資支援について	回答数
1. 積極的に支援を行いたい	37
2. 要請があれば支援を行いたい	38
3. 支援を行うことは考えていない	4
4. わからない	13
無回答	12

問2 支援協定について、どのようにお考えですか。

(n=104)

支援協定について	回答数
1. 積極的に検討したい	17
2. 要請があれば検討したい	43
3. 協定を結ぶことは考えていない	10
4. わからない	20
無回答	14

問3 食糧物資支援を行うことを想定した場合、不安な点や疑問な点がありましたら、具体的にご記入ください。

主な疑問/不安	回答数
輸送について	19
情報入手方法について	7
現地での受入・配布について	7
過去の支援について	5
衛生管理について	4
費用について	4

問4-6 第一から第三ステージにおいて、支援が可能な食糧物資の種類をお選びください。(複数回答可)

(表中数字は回答企業・団体数、n=104、重複回答あり)

食糧物資の種類	第一ステージ	第二ステージ	第三ステージ
1. 主食用食品 (一般食に限る)	19	28	33
2. 副食用食品 (一般食に限る)	19	19	24
3. 飲料 (水・茶)	36	33	33
4. 飲料 (水・茶以外)	17	16	17
5. 菓子類	8	9	10
6. 乳児用ミルク	1	2	2
7. 離乳食	3	3	3
8. 咀嚼・嚥下困難者用食品 (粥・とろみ剤を含む)	15	14	15
9. 糖尿病患者用食品	12	9	11
10. 脂質コントロール食	6	7	7
11. たんぱく質コントロール食	12	12	12
12. 塩分コントロール食	10	10	10
13. 透析食	9	9	8
14. (濃厚) 流動食	12	11	11
15. アレルゲン除去食	1	2	2
16. 特定栄養素除去食 (代謝異常)	1	1	1
17. その他 [§]	2	0	1

§ : [第一ステージ] 栄養強化食品

[第二ステージ] 調味料 (しょうゆ、つゆなど)

II - 6 大規模災害時における歯科衛生士の役割の検討

主任研究者 中久木康一（東京医科歯科大学 顎顔面外科学分野 医員）

研究協力者 小室貴子（歯科衛生士）

研究要旨

健康危機発生時における地域包括的歯科保健体制の構築に向けて、歯科衛生士の役割を明らかにすることを目的とし、神戸では阪神淡路大震災時に活動した歯科衛生士に、静岡では地震災害被災者に対する歯科保健医療に関する研究を行っている歯科衛生士にインタビューを行った。大規模災害時には口腔内状況の悪化、義歯の紛失や不適といったことからの食生活、生活の質の低下がみられる。それに対し、医療情報の提供による早期改善と口腔衛生指導による機能の維持向上、また疾病予防など歯科衛生士の役割が有用であることが明らかになった。歯科衛生士がその役割を果たす上で、平常時また災害時ともに歯科衛生士会、保健所、歯科衛生士養成校、歯科衛生士同窓会等における体制の整備状況の実態調査を実施する必要があると考えられる。

はじめに

歯科衛生士は厚生労働大臣から免許を与えられる、歯科予防処置、歯科診療の補助および歯科保健指導等を行う歯科医療職である。その就業先も、歯科診療所、病院、市町村、教育機関、保健所等多岐にわたる。

大規模災害時においては多くの地域住民が避難生活を送ることが想定され、長期化にあたっては、口腔内状況の悪化、義歯の紛失や不適といったことからの食生活、生活の質の低下が考えられる。そこで、医療情報の提供による早期改善と口腔衛生指導による機能の維持向上、また疾病予防等を、歯科保健医療従事者である歯科衛生士が担い、地域住民の健康被害を最小限に抑えることができるのではないかと考え、現段階での体制の調査を行った。

A. 研究目的

健康危機発生時における地域包括的歯科保健医療体制の構築に向けて、歯科衛生士における体制の整備状況の実態調査に向けて役割の検討をした。

神戸では阪神淡路大震災時に活動した歯科衛生士に、静岡では地震災害被災者に対する歯科保健医療

に関する研究を行っている歯科衛生士に、それぞれ現段階での体制、また今後の課題について聞き取りを行った。

B. 研究方法

歯科衛生士の歯科保健対策について、以下の日程にて、神戸では阪神・淡路大震災の経験から、静岡では東海大地震を予測した体制、また静岡県立大学短期大学部で行われている『地震災害被災者の QOL 向上を目的とする歯科保健医療支援』（文部科研 基盤研究 C 19592422）について伺い、歯科衛生士の体制の現状と今後の課題を考察した。出席者は以下のとおりである。

神戸 平成 19 年 10 月 6 日（土）

- ・中久木康一（歯科医師、主任研究者：東京医科歯科大学顎顔面外科学分野医員）
- ・小室貴子（歯科衛生士、研究協力者）
- ・御代出三津子（兵庫県歯科衛生士会会長）

静岡 平成 20 年 1 月 8 日（火）

- ・中久木康一（歯科医師、主任研究者：東京医科歯科大学顎顔面外科学分野医員）
- ・小室貴子（歯科衛生士、研究協力者）

- ・藤原愛子（歯科衛生士、静岡県立大学短期大学部 歯科衛生学科 教授）
- ・有泉祐吾（歯科医師、静岡県立大学短期大学部 歯科衛生学科 教授）
- ・中村和美（歯科衛生士、静岡県立大学短期大学部 歯科衛生学科 助教）
- ・那須恵子（栄養士、静岡県立大学短期大学部 栄養学研究室 講師）

（倫理面への配慮）

インタビューに当たっては、本調査以外の目的に使用しないことを伝え、同意の上で協力を依頼した。

C. 研究結果・考察

（1）歯科衛生士の組織

歯科衛生士会は、日本歯科衛生士会の下に都道府県の歯科衛生士会があり、その下に支部がある。歯科衛生士全員が加入しているわけではないため、加入率は7.5%（表1）とかなり低い。例えば、兵庫県の歯科衛生士は3400人くらいだが、そのうち歯科衛生士会会員は870人程度である。毎年、新卒者をメインに100人くらい入るが、同数の退会者が出るとのことであった。また、研修会や、3歳児健診などの行政からの仕事の割り振り、求人情報を載せた会報誌が出されている。

表1 歯科衛生士の就業状況と歯科衛生士会会員数

日本の総歯科衛生士数	209686
就業歯科衛生士	86939
非就業歯科衛生士	122747
日本歯科衛生士会会員数	15661

日本では毎年、約7000人前後が歯科衛生士となっている。大規模災害時における歯科保健医療は、長期化する避難所生活において生活の質を向上させるために重要であり、歯科衛生士学生に対しても関連した講義を行うことは、有用であろう。静岡では、歯科衛生士学生に、広く災害時における対応のノウハウを伝えることを目的とした『地震災害被災者のQOL向上を目的とする歯科保健医療支援』（文部科

研 基盤研究C 19592422)に関する研究が行われている。他の養成校においても教育プログラムに災害時活動に関する科目、もしくは講義が設けられているか、あるとすればどのような内容、どのくらいの時間で組み込まれているのか、また、卒後教育としてはどうかを調査することは有用であると考えられる。

歯科衛生士学校の同窓会は、活動内容、年会費、活動人員、会報誌の作成頻度など様々であるが、東京医科歯科大学歯学部附属歯科衛生士学校（現：歯学部口腔保健学科）のさつき会はアクティブで、年会費は1000円、会報誌は年に1~2回、公開講座が年に3~4回、他、さつき会ボランティアが同大学医学部附属病院脳外科病棟に週に1回口腔ケアに行っている。今後、全国のそれぞれの同窓会が、組織として大規模災害時に活動できるか、できるとすると人員はどのくらいか、内容はどのようなものが考えられるかなど、他同窓会に対しても調査することとする。

（2）大規模災害時の歯科衛生士の動き

① 歯科衛生士会の歯科衛生士

神戸で被災した歯科衛生士によると、震災のときはまず自分の家を片付け、歯科衛生士会会員の安否確認をしたようである。その後、神戸市立中央市民病院の田中義弘先生から電話がきて、避難所を回って欲しいと依頼を受け、各支部長を通じて歯科衛生士を集めて活動を開始したとのことであった。定点診療所の人数が足りなくなることはなかったが、避難所回りは集まれる人数で活動していたので、集まる人数にばらつきもあったようである。

避難所回りは、リュックに歯ブラシ、歯磨き粉、義歯安定剤を持って声をかけてまわったとのことであった。ある製薬会社に依頼したところ、一箇所の避難所にまとめて物資が届いたため、歯科医師に頼んで荷物配達ボランティアに各避難所に分配していただき、各避難所で補充しながら歩いて回ることができたとのことであった。ある避難所ではたまたま奈良県からきたというボランティアの歯科医師と一緒に、定点で歯科の相談を受けてもらい、歯科衛生士らは避難所全体をまわって動ける人は定点に